

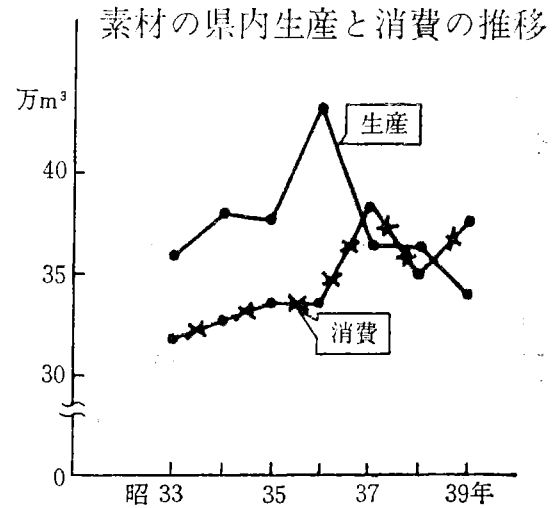
32. 主要林産物の生産と消費

本県の素材生産量は36年以降減少傾向にあり、昭和39年の生産量は、約34万m³で、素材消費量（約38万m³）の89.9%にあたる。

薪炭生産量は、熱エネルギーの変化により、逐年減少し、39年は遂に木炭8千トン、普通薪106万束となった。

竹材は、本県林産物の主要な位置を占めているが、減少傾向にあり、39年の生産量は約48万束で全国第5位である。

39年の素材消費量は、約38万m³で、生産地別では自県材74%、他県材2%、外材24%となっている。



年	素 材 生 産 量 (1000m ³)					
	総 数	用 途 別				
		製材用	パルプ用	電柱用	坑丸太用	その他
昭和 33 年	364	312	31	4	2	15
34	383	325	35	5	3	15
35	377	318	37	1	4	17
36	438	368	37	1	15	17
37	363	306	35	2	5	15
38	363	304	34	—	3	22
39	339	284	37	0	1	17

年	薪 炭 生 産 量			
	木 炭	普 通 薪	し ば 薪	竹 材
	t	1000束	1000束	束
昭和 33 年	13 033	1 623	28	312 249
34	11 510	1 848	22	498 644
35	14 003	1 797	47	695 698
36	12 992	1 517	253	701 092
37	12 816	1 657	113	632 403
38	10 466	1 852	68	540 700
39	8 239	1 059	68	476 000

年	素 材 消 費 量 (m ³)					
	総 数		賃びきによるもの		手持製材によるもの	
	計	(うち)針葉樹	計	(うち)針葉樹	計	(うち)針葉樹
昭和 33 年	318 300	308 000	94 500	91 700	223 800	216 300
34	328 900	320 500	119 400	115 500	209 500	205 000
35	336 800	324 700	89 600	83 100	247 200	241 600
36	333 245	...	69 596	...	263 649	...
37	384 400	362 100	65 500	...	318 900	...
38	351 000
39	377 000	...	58 000	...	319 000	...

農林省千葉統計調査事務所調 注) 34年までは年度である。